

小児科

# 「子どもが第一」の小児科

新病院は、周産期医療・小児救急医療の中核病院として、また将来の小児医療を担う若い医師を育てる病院としての役割を担っています。地域の病院・診療所と協力して、子どもの健康と安全を守る体制を築いていきます。小児の診療では、生命倫理や児童虐待などのさまざまな問題において、難しい決断が必要なこともあります。そういう場合には、「子どもの最善の利益を第一に(Child First)」考えることを原則にしています。



県立塚口病院  
検査放射線部長兼小児科部長

## 毎原 敏郎

日本小児科学会 専門医  
日本小児神経学会 小児神経専門医  
京都大学附属病院小児科 臨床教授  
日本小児科学会 代議員



### 小児科の紹介

小児の診療においては、医師だけでなく、看護部、検査部、放射線部、リハビリ科、薬剤部、栄養課などと連携して、チーム医療を提供しています。

また「疾患」だけでなく、成長・発達という視点や心理的な面、家庭・学校など子どもが育つ環境への配慮も不可欠です。そのような観点から「こども家族支援室」を設立し、医学的・心理的・社会的な問題に対するさまざまな支援を提供しています。

### 対象とする症状や疾患

現在の県立塚口病院の小児科と県立尼崎病院の小児循環器内科が合併して、小児救急科、小児外科とともに充実した小児医療センターができることとなります。

小児科としては、新生児、血液・腫瘍、循環器、神経、アレルギーを中心として、膠原病・リウマチ、小児生活習慣病、心身症、児童精神、発達障害、内分泌・代謝、腎泌尿器、臨床遺伝など、子どもに関わる幅広い分野を充実させていきます。

新生児  
チーム



二列目左から：内藤医師、堀田医師、松永医師  
一列目左から：平海医師、西田医師、飯尾医師

一般小児  
チーム



二列目左から：加藤医師、脇田医師、末廣医師、西谷医師、吉田医師  
中橋医師、高橋医師  
一列目左から：窪田医師、松本医師、毎原医師、宇佐美医師  
川崎医師、石原医師